

○大会運営（参加）上の留意点

- ・コロナ禍以降の大会では頭部、頸部の事故が多発していることを事前に周知し、大会運営者、大会参加者共に頭部、頸部の事故防止の意識を高める。
- ・頭部、頸部の事故が発生した場合に備え、改めて救急処置や救急搬送の手順や対応策を確認しておく。また、大会に参加する指導者は、保護者の連絡先の確認を徹底し、救急搬送が必要な場合、救急車に同乗できる人材を確保するなど万々に備えた準備を整えておく。

表1 近年の事故状況

年度	報告事故件数	脳しんとう	頸部事故	急性硬膜下血腫	重大（準重大）
2018	27	15	5	1	1
2019	21	13	1	3	3
2020	11	8	2	0	0
2021	8	7	1	0	0
2022	15	7	2	5	3
2023	18	9	7	1	3

安全指導、事故防止の冊子、映像資料等の活用についてのお願い

本連盟では「長期育成指針」に基づいた安全講習資料「柔道重大事故ゼロのために」、柔道の安全指導「柔道の未来のために」（第6版）、危険な場面映像資料（少年大会特別規程編を含む）などの安全指導、事故防止の標準となる教材資料を作成しています。総会、大会準備の会議、研修会、大会等の機会に、こうした資料を活用して安全指導、事故防止の知識・理解を深め、事故を未然に防ぐための共通認識を高めて頂きたいと思えます。

なお、安全指導、事故防止の資料等のお問い合わせは全柔連事務局へご連絡ください。また、**頭部外傷・脳しんとう・頸部外傷・熱中症・その他の緊急入院を要した事故発生時には必ず所定の様式で全柔連への事故報告をお願いします。**

重大事故の傾向を分析して対策を講じ、新たな事故を未然に防ぐためにもご協力をよろしくお願ひします。詳細・書式は下記全柔連ホームページを参照してください。

[事故報告書について | 全日本柔道連盟 \(judo.or.jp\)](http://judo.or.jp)

以 上